

那覇西ロータリークラブ

国際ローター-2580 地区 創立 1962 年 6 月 4 日

2023年6月28日 週報 第2688号



イマジジン ロータリー

那覇西ロータリークラブ年間テーマ

「クラブ活動を活発にする」

四つのテスト

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 真実かどうか | 本日のプログラム |
| 2. みんなに公平か | 6月28日(水) |
| 3. 好意と友情を
深めるか | ・点鐘
・ロータリーソング |
| 4. みんなの為に
なるかどうか | ・日も風も星も
・会長報告
・幹事報告 |

例会報告

第2812回(2023年6月7日)出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
53名	33名	18名	65%	54%

欠席会員

松島、大城(博)、儀部、宮内、福重、久保、渡慶次、
三浦、石垣、龍、照屋(紀)、小豆澤、佐久本、
石川(元)、福本、稲嶺、山崎、宮下会員

ゲスト

木下 桜(ゲストスピーカー)
宮平五月(那覇西奨学生)

ニコニコBOX 合計¥2,000累計 ¥331,000

大城純市 8月5日(土)~8月7日(月)に開催予定の
第58回インターアクト年次大会の成功を祈念
します。

会長 新里順一 副会長:大嶺 香・中村 敦
幹事:小林 充
例会日 毎週水曜日 12時30分
例会場 沖縄ハーバービューホテル
事務局 那覇市松山1-1-14 那覇共同ビル6階
TEL:861-7824 FAX:861-7825



6月度誕生祝い

稲嶺正也(6月4日) ジョンソン美枝(6月17日)
三浦 勉(6月18日) 安里清榮(6月23日)

会長報告 新里順一



- ・昨日、ロータリークラブの定例コンペが開催された。エナジック与那嶺さんと同組で、6/15開催の合同例会に参加するとの話を頂いた。
- ・本日の卓話は不発弾探査。先日、近所の清原町でも68年ぶりに不発弾が見つかった。漫湖(湿地帯)の近くの為、パイルを打っている家もあり、怖いなと思った。記憶にあるのは48年前聖マタイ幼稚園そばで重機による爆発事故があった。それ以降、磁気探査が積極的に行われるようになった。
沖縄は生活の近くにまだまだ不発弾が存在している。

幹事報告 小林 充

- ・次年度交換留学生の受け入れを決めた。協力をお願いしたい。

- 6月20日台北/旭RC訪問（かりゆしナイト）11名で参加予定。今後の友好についても議論中。
- 6月15日16:00～20:30開催@パシフィックホテル
分会合同例会、現在参加者18名の予定。25名～30名を目指し参加者を募りたい。繰り合わせの上、ご参加検討下さい。小林幹事が地区委員として米山奨学生の講習会の講師を務めさせていただきます。
- 6月14日の例会は分区合同例会へ振替による休会、翌週21日も休会の為、28日が今年度の最終例会。
- 7月1日開催のアメリカンフットボールの試合パイナップルボールへの支援を検討している。
- 8月5・6・7日に開催されますインターアクト年次大会の案内を作成したので内容ご確認の上、多くの方の参加をお願いします。



■各委員会報告

比嘉委員/青少年奉仕委員会

6月18日に嘉数高台公園でインターアクト沖縄分区4校によります平和学習会を開催します。9:00集合
9:15開始で清掃活動後、名幸名誉住職による法話を頂く予定。帽子のみ持参にて参加下さい。

丸橋委員

幹事よりご紹介のあったパイナップルボール、7月1日台湾のアメリカンフットボールのチームを呼んで試合を行います。会場は奥武山陸上競技場、14:40試合開始。
12:00からキッチンカー、各種イベントが企画されており、ハーフタイムは西原高校マーチングバンド部による演奏を予定。本日の理事会にて会の開催及びマーチングバンド部の生徒・楽器の移動費用の支援につき快諾頂いた。是非、試合観戦もお越しくください。

上間委員

6月30日～7月2日の3日間、沖縄タイムス紙創刊75周年記念行事として、タイムスホールで津嘉山正種のオリジナル脚本による朗読劇『命口説』を開催します。観覧ご希望の方は、ご一報下さい。

■卓話 『不発弾探査を通じた職業奉仕』 有限会社 浅海技術 木下桜氏



- 浅海技術は、平成元年創業で①不発弾探査②測量③土質調査を3本柱とする土地に関する事業を行っている。
- 不発弾の状況について、沖縄県公式ちゃんねる「不発弾の磁気探査について」うまんちゅひろば令和4年3月19日、3月20日放送をご紹介します。

https://www.youtube.com/watch?v=vR3_VHAP30Q

- 沖縄県下には推定2000トンの不発弾が埋まっており、発見件数は年間500件に上る。
- 公共事業では不発弾探査が義務化。民間工事（住宅の新築・建替予定の個人、マンション事業主、畑の地主等）を対象に事前の申し込みにより、不発弾探査に係る費用の原則100%を補助する事業を戦後処理の一環として県（窓口：防災危機管理課）が行っている。
浅海技術では主にこの民間支援事業を行っている。

- 申請から認可、着工まで1.5カ月～3ヶ月。民間事業は工期が短く、且つ開業日等の制約がある為、制度は知っていても工期の都合で利用出来ないことも多い。
- 職業奉仕の視点から、①不発弾探査によって爆発事故の心配ない安全な建築現場を作る。②施主・建築会社に工期でご迷惑を掛けないように、工期に関する調整を密に行う。工期の遵守が不発弾探査の普及促進に繋がる。

質疑応答

- コストは一軒家で100万～300万円。全額県の補助。
- 沖縄の全撤去には70年掛かると言われている。1個当りの大きさは最大250kg（那覇市立病院付近で発見）。
- 補助は離島含め県内全土が対象になっている。
- 建築確認申請図面の施工深さが探査の対象となる。
- 県事業の為、予算上限有、枠内での対応になる為、先着順になってしまう。且つ年度事業で3月末までに報告が必要の為、12月までに探査依頼を頂ければ有難い。
- 探査された場所のDBは公開されている。地価の評価については、不発弾が無いものとしての評価額になっている為、探査済であることが、地価のプラス要因にはならないと思われる。